

意見広告

世界が憧れるまち “小田原”

災害関連死ゼロを目指す

守屋てるひこ

9月、10月と大型台風が襲来し、我が国全体に大きな被害をもたらしました。亡くなられた方に哀悼の意を表するとともに、被災された方にお見舞い申し上げます。また、各地で災害復旧に当たられている方に感謝と敬意を表します。

9月、10月と大型台風を受けました。大磯谷の火山活動の沈静化を待つて、秋の紅葉シーズンへ期待を膨らませていた時期だけに残念でなりません。県や近隣市町が一体となり、箱根を守り抜くことが大切と考えます。

小田原市では、床上床下浸水、停電、断水、倒木、護岸崩壊などの被害が発生しました。また、73箇所避難所に、約7000名の方が避難されました。避難所の運営に当たられた方に心から敬意を表します。

その後、市民からは様々なご意見を伺いました。防災無線が聞こえなかった、河川近くの避難所に避難することをためらった、福祉避難所の開設情報がなかった、避難所のバリアフリー化を進めて欲しい、ベットを受け入れる避難所が事前に知りたかった、空調衛生面など避難所の環境を改善して欲しい、避難所がバリアフリーになっ

台風19号で、箱根町では箱根登山鉄道を始め交通インフラが大きな被害

ない、民間の福祉施設や商業施設への避難はできないのかなど、経験したからこそ出てくる市民の声です。

てスピード感を持って対応し、地域防災計画を抜本的に見直す必要があります。災害関連死ゼロを目指しましょう。

■プロフィール
1966年生まれ。芦子小・白山中・小田原高・東京電機大学・東京大学大学院卒。元神奈川県庁職員、前神奈川県議会議員。自民党小田原市連合支部部長、東京大学大学院研究生、慶応義塾大学SF C研究所上席所員。

『世界が憧れるまち “小田原”』に向けた主要政策

- 人口増への挑戦、人口20万人を復活
- 企業誘致・創業支援による雇用創出と経済再生
- 教育環境・子育て支援の充実
- 安心して暮らせる医療福祉環境の充実と災害対策の強化
- 農林水産業とエネルギー・環境の融合



守屋てるひこ後援会

〒250-0042
小田原市荻窪317-1
イセトヨビル2階
☎ 0465-43-9918
☎ 0465-43-9917
✉ info@moriya-teruhiko.com
🌐 http://moriya-teruhiko.com

